

請求用 F D の簡単な流れ

- 1 別紙「薬品チェック」を実施し、請求可能薬品か確認。
特に4月8月9月10月11月分（平成21年の場合）
- 2 レセプト発行画面で、古い1件発行等の確認のため、 C でチェックし、不要なデータがある場合は、4でデータを消去する。注意：必要性から1件追加で発行している場合はそのまま。強制追加も確認のこと。先月分の消し忘れもあります。
- 3 レセプト発行プログラムを起動し、 f ・ 1 f ・ 2 f ・ 3 を押し自動処理
- 4 処理中に印刷された場合、内容を確認する。 エラー状況等の印刷もあります。エラーは修正してから次に進みます。
- 5 W W エンターで複写分・労災等の別請求の紙レセプトを印刷。
- 6 初期画面5の電子レセ（関係）の処理に移る
- 7 電子レセ元データをチェック。（国保と社保）
- 8 念のため、4のチェック（新機能）も実行。
- 9 F Dを作成する（国保と社保）
- 10 F Dのチェックをする（国保と社保）この時に請求データを作成します。

B画面に移り、請求データのエクセルを開き「名前を変更して保存」し C t r l i でデータをインポートし印刷し上書き保存

注意：エラー表示は全てではありません。

「薬品チェック」

厚生省コードの変更は、毎年 4月と9月と10月行われます。平成21年度は8月もありました。既に、8月30日で期限の切れた厚生省コードは、10月分レセプトの請求（11月に提出）では使用できないコードです。必ず厚生省コード（電子レセ用医薬品番号）のチェックを実施

インストール方法

重要注意事項：処方入力のプログラムは必ず終了させてからインストールします。

CD-ROMを利用の場合、印刷用PCにセットしインストールします。

インストールするデータは、その時により変更ありますので別途お知らせします。

インターネットからダウンロードする場合

<http://iijima-p.sakura.ne.jp/YAKUZAI/RESEPM.htm>

写真関係(2009/09/21更新)は[こちら](#)

説明書関係抜粋は[こちら](#)（データバックアップ方法追加）

プログラム関連は [こちら](#)

[プリンターの交換方法について](#)

キャノンIP4700のプリンタードライバでWin2000の場合、サービスパック4のインストールが必要です。デスクトップのマイコンピュータを左クリックで、プロパティで確認できます。インストールされていない場合、インストールは[ここ](#)

RESEP30.EXE 2009/10/05更新プログラム	更新日付2009/10/2（厚生省薬価更新）
重要 保険者番号の記号が1桁抜けてしまうミスがありました。お詫び申し上げます。10月1日時点でミスがわからずおりました。	
外用薬で混合する薬品で、使用回数を 0 として設定した場合、薬袋エラーとなっていました。ご迷惑をお掛けしました。修正しました。	
手帳印刷で、メモ入力文を印刷する機能を取りやめました。	
厚生省薬価データ更新されました。10月2日?? 1日更新されたデータから新規登録に変化ないけど取りあえず更新しました。	

ダウンロード用のページが表示されます。必要なファイルをダウンロードしインストールします。

ダウンロード先は、ご自分でわかる場所が良いと思います。どこでもOKです。

直接、薬局のPCにダウンロードできない場合は、USBメモリーにダウンロードし薬局でインストールします。

容量は6～10M程度で、その時に必要なデータ量により、容量は異なります。

USBメモリー等に保存し、薬局でインストールします。

インストールは、プリントサーバー側PCから必ず行います。USBメモリーをセットし、

電子レンジのアイコンの **RESEP 30** をダブルクリックすると、Cドライブに（instbas33ホルダー）

解凍し、必要な項目を自動コピーします。

電子レセに必要なアクセスフォーマットや請求書フォーマットもこのホルダーにあります

付録ファイルをダウンロードした場合、そのファイルをダブルクリックするとインストールできます。

使用薬品の元データのチェック 大変に重要です。

電子レセで使用する薬品は必ずレセプト排出前に 毎月チェックしてください。

まず、処方入力プログラムの初期画面 7 の 4 登録薬品チェックリスト排出 を行い、登録してある薬品のデータを排出してから、薬品登録のチェックNEW（最新バージョン使用の事） を実行して下さい。「薬品未設定状況」をクリックすると、削除されている薬品リストが表示されます。

印刷は、印刷を実行します。

プログラムをインストール（CD-ROMの場合）すると、Cドライブにコピーされます。

チェックには、最新の厚生省薬品マスターデータが、C:¥Photo1 インストールされている必要があります。
ダウンロード先は <http://202.214.127.148/download.html> 医薬品マスターをダウンロードし、解凍し、y.csv を C:¥Photo1 ホルダーにコピーします。
プログラムダウンロード先 <http://kanyakusakurane.jp/7AKUZAI/RESEF>

薬品未設定状況

薬品未設定状況は、登録されている全ての薬品がリストアップされ、設定が無い薬品が先頭に来るようになっています。印刷する場合は、ページ指定します。指定しない場合、全ての印刷が開始されます。ご注意ください。

薬品未設定状況

未設定薬品のみが表示されます。

後発・先発チェック

後発・先発チェックは、登録されている薬品の後発・先発と厚生省マスタ（y.csv）と比較し、違う場合だけリストアップされます。

薬価チェック

登録薬価と、厚生省マスタの薬価が違っている場合にリストアップされます。

新薬価更新用
抜粋データ作成

新薬価変更の時に、メインPCに登録されている薬品だけの厚生省薬価データファイルを作成します。これを使用するとスピーディーに更新処理が出来ます。

内部薬品チェック
後の印刷

メインパソコンで更新チェックした後にデータが作成されます。チェック後に開いてください。

更新後薬品チェック印刷

新薬価を吸い上げた後にデータが作成されます。更新した後に開いてください。

薬品写真未設定状況

PHOTXTXT排出

来局患者負担一覧印刷 集計処理で 負担T(Q)の Q で処理した場合、日にち毎の集計印刷が出来ます。

薬品別調剤数量印刷 詳細

薬品別調剤数量印刷 簡易

日にち別印刷 (D付き)

日にち別印刷 (Dなし)

病院・医師名

集計処理で、開始年月日と終了年月日を設定し、集計後、印刷処理=1 を実行するとデータが作成されます。そのあとに、有効です。

仕入れ数印刷 仕入れ集計後に有効です。

仕入れ一覧印刷 集計処理で、開始年月日と終了年月日を設定し、集計後、仕入れデータ処理=s を実行後印刷処理=1 を実行するとデータが作成されます。そのあとに、有効です。こちらの印刷は、在庫数が0個以外全て印刷できます。

仕入れゼロ無し一覧印刷 上の処理で、在庫金額が 0円はキャンセルして印刷できます。

医師名検索での印刷

薬品チェックNEW バージョン2008

薬品基本印刷

薬品在庫印刷

薬品棚卸記載欄印刷

時刻別患者受付印刷

分譲依頼FAX

問屋発注FAX

薬品未設定状況を開き、右が側 マスターが空欄の薬品について、修正します。

未設定薬品リスト				
NO	薬品名	登録側コード	登録側番号	マスター側番号
832	T-ビオ文(6.0g)	999999		
1627	オファス20007m	123456789pari		
1320	注射用タイモックス	2134400D1020	642130018	
1624	写真CD-ROM	999999CDROM		
1633	PIC16F84(TX)	999999PIC		
1634	PIC16F84(R1)	999999PIC		
1635	PIC16F84(R2)	999999PIC		
1637	PIC12C509(ハリス)	999999PIC		
1638	PIC12C509(ハリス)	999999PIC		
1639	PIC12C509(PWM)	999999PIC		
1640	PIC16F84(プラン27.HEX)	999999PIC		
1643	ヘンニドール32Gターナー	ヘンニドール32G	738010000	
1628	クインダクス2000PRO	999999CDRO		
1625	FDディスク	999999FDディスク		
831	ビス-T文(3.0g)	999999		
1623	ドライバーCD-ROM	999999CDRM		
1616	藤沢市薬剤師会誌	999999KAISHI		
1615	DVDビデオ	999999yin3		
1614	パリの恋人DVD	123456789pari		
1613	マッキー	20050623m		
1592	USBメモリアプログラム	USBメモリア		
1569	英語完全克服	2222222222		
1630	CD-ROM	999999CDRO		

修正は、処方入力の画面から行います。

初期画面 7 から 1 を選択し、薬品検索画面で、薬品を選択しますが、この時は、必ず薬品コードから検索します。

1625 FDディスク

ESD=初期厚生省2634710M1077		NO(222)=620008993		15.50点(在庫)	-6072.00円
122 (旧コード=33)		NO(333)=662630014		15.90点(薬価)	-5115.00円
1	検索名	ゲンタ	(22=2634710M1077)	仕入処理= ☒ (122)	
2	表示名	ゲンタシン軟膏0.1% 1mg		単品= ☒ 袋無= ☒ ☒ リンク=- (×)	
3	薬価単位	10.00 (66= 0.00g)		極量= ☐ ☒ 先= ☒ ☒ メリ=- (×)	
4	表示単位	g 極量 0 力価(55= 0.0)		警告①= ☒ ②= ☒ ☒	
5	適正在庫数	0個			
6	現在在庫数	-33個			
7	改正前薬価	159.00円			
8	改正後薬価	155.00円			
9	仕入れ価格	184.00円 (118.7%)			
10	仕入数量計	10.00個			
11	指導コード	53 抗生物質軟膏			
12	分(先発)	0 - - - -			
13 注(14) <この薬は、患部の細菌を退治する抗生物質の軟膏です。患部に1日数回塗りこんで下さい>					
外1= 0 2= 0 3= 0 4= 0 5= 0 (後発リンク(-)= 0) CR=-0 メリ(--)= 0					
患者= ☒ ・1 終了=0 情報= ☐ 変更番号=-----					

22エンターです。

[illegible]

*エンターすると

NO	(検索名) 薬品名=ゲンタシン軟膏0.1% 1mg単位	薬価(分類)(後前)	厚生省コード
1	(ゲンタシンチュ)ゲンタシン注40 40mg 1管	358.00()()	6134407A2071
2	(ゲンタマイシン)ゲンタマイシン硫酸ナトリウム軟膏0.1%「タ」 1g	9.10()(後発)	2634710M1050
3	(ゲンタロールテ)ゲンタロール点眼液0.3% 3mg 1mL	19.20()(後発)	1317706Q1097
4	(リュウサングン)硫酸ゲンタマイシン点眼液0.3%「ニ」 1mL	17.30()(後発)	1317706Q1100
5	(ゲンタシンクリ)ゲンタシンクリ-40.1% 1mg 1g	15.50()()	2634710N1030
6	(ゲンタシンナン)ゲンタシン軟膏0.1% 1mg 1g	15.50()()	2634710M1077
7	(ゲンタシンチュ)ゲンタシン注10 10mg 1管	144.00()()	6134407A1024
8	(ゲンタシンチュ)ゲンタシン注60 60mg 1管	368.00()()	6134407A3043

検索名「ゲンタ」で検索された薬品リストが表示されます。
 この場合、6番目なので、6エンターとします。
 これで、更新は終了です。次の薬品も更新して行きます。

修正後、登録薬品チェックリスト排出でデータ吐き出し後に再度、上記の画面を出しチェックします。
 その後、先発・後発 薬価 についてチェックします。
 注意：先発・後発 薬価については、マスターコードが正しく設定されていない場合、表示されません。

登録薬品の写真リンク設定について

電子レセにともない、厚生省コードが新しくなった場合、写真の更新（4～5ヶ月遅れる）が追いつかず写真がリンクされない場合が多々出て来ます。また、以前に写真リンクを設定し、逆に写真のリンクが古くなった場合もリンクされなくなってしまうます。

そこで、厚生省コードチェックに、写真データも追加いたしました。
 データの排出は、通常どおり行います。

（最新プログラムで対応です、下記画面と違う場合、ダウンロードしてください）
 次に、最新の「薬品チェックNEW」を使い写真とリンクしていない薬品リストを印刷表示できるようにしました。
 ご活用ください。「PHOTO.TXT」は、現在リンク先を手動設定されている薬品で、最新写真データファイルに登録されていない薬品リストをメインパソコンに作成し、一括で手動設定を解除できるファイルを作ります。

チェックには、最新の厚生省薬品マスターデータが、C:¥Photo1 インストールされていることが必要です。
 ダウンロード先は <http://202.214.127.148/download.html> 医薬品マスターをダウンロードし、解凍し、y.csv を C:¥Photo1 ホルダーにコピーします。
 プログラムダウンロード先 <http://fuiyokusakurane.jp/YAKUZA/RESEP>

薬品設定状況 薬品設定状況は、登録されている全ての薬品がリストアップされ、設定が無い薬品が先頭に来るようになっています。印刷する場合は、ページ指定します。指定しない場合は、全ての印刷が開始されます。ご注意ください。	薬品未設定状況 未設定薬品のみが表示となります。	後発・先発チェック 後発・先発チェックは、登録されている薬品の後発・先発と厚生省マスター(y.csv)と比較し、違う場合だけはリストアップされます。	薬価チェック 登録薬価と、厚生省マスターの薬価が違う場合にリストアップされます。	薬価改正時特別コマンド 新薬価更新用 抜粋データ作成 新薬価変更の時に、メインPCに登録されている薬品だけの厚生省薬価データファイルを作成します。これを使用するとスピーディーに更新処理が出来ます。	内部薬品チェック後の印刷 メインパソコンで更新チェックした後にデータが作成されます。チェック後に開いてください。	更新後薬品チェック印刷 新薬価を吸い上げた後にデータが作成されます。更新した後に開いてください。
---	------------------------------------	--	--	--	--	--

PHOTO.TXT排出

来局患者負担一覧印刷 集計処理で 負担T(Q)の Q で処理した場合、日にち毎の集計印刷が出来ます。

薬品別調剤数量印刷 詳細 薬品別調剤数量印刷 簡易 日にち別印刷 (D付き) 日にち別印刷 (Dなし) 病院・医院 医師名 集計処理で、開始年月日と終了年月日を設定し、集計後、印刷処理=1 を実行するとデータが作成されます。そのあとに、有効です。

仕入れ数印刷 仕入れ集計後に有効です。

仕入れ一覧印刷 集計処理で、開始年月日と終了年月日を設定し、集計後、仕入れデータ処理=S を実行後印刷処理=1 を実行するとデータが作成されます。そのあとに、有効です。こちらの印刷は在庫数が10個以外全て印刷できます。

PHOTO.TXT排出 をクリック後
 上様等で適当な薬品を検索し

14	ポントール散50%	1.0:	17.60
検索	4選択=	0円	(
131	ポントールシロップ 3.25%		
143	ポントール散50%		
95	ポントール250mgカプセル		
481	ポントールカプセル125mg		

薬品を検索し P を押して設定します。検索した薬品とは無関係です。

4選択=	0円	(	0)	(	0)090921	090921
(1141005B1062-	ポントール散50%	XZ解除	(HELP)	P	NO=	__
2.jpg	(1141005B1062-	ポントール散50%				パラ100G

XZ解除を使うと、一括で解除できます。

0)090921	090921
解除	(HELP)
P	NO=XZ
	パラ100G

XZエンターで

3(IDU点眼液0.1%「科研」)	PC=IDU点眼液0.1%「科研」	
全て解除=C	解除=1	無視=

全て解除=C を選択すると一括で解除できます。

1個ずつの場合は、1 を選択します。

1088(塩酸パロパリン)	PC=塩酸パロパリン
1728(生理食塩液 100mL)	PC=生理食塩液 100mL
1013(精製水)	PC=精製水
384(乳糖)	PC=乳糖
写真が設定されていた薬品の解除をしました。再度初期画面7の4でチェックの事	

一括解除を行った様子です。

解除が済みましたら、初期画面7 の 4で再度 設定を行います。

リスト印刷後、

画面にリンクが無い場合、自動で探します。(以前は → で探して設定します。)

注意：リストになにも表示されない場合、写真が無いです。

画面に、「設定有りますか？」が表示され、目当ての薬品が見つかりましたら、番号を選択します。

「未設定」の表示は、設定する必要が無いか、数種類の写真がある場合です。

新規に薬価収載された薬品の場合、写真データの無い物もあります。

データとして更新されるのは約4ヶ月後位です。

下記は印刷例です。

885 ネオフィル末	2115001X1015	2115001X1015.jpg	MAIN
1373 パイオン点眼用 2%	1319708Q1066	1319708Q1066.jpg	MAIN
72 パステル錠3mg	2171007F1210	2171007F1210.jpg	MAIN
1614 パリの恋人DVD	123456789pari	123456789pari.jpg	MAIN
831 ビス-T文(30g)	999999	999999BIST.jpg	set
893 ビタミンE2散「三研」0.2%	3131003B2011	3131003B2011.jpg	MAIN

上様等で薬品名を検索後、カーソルで合わせた後、P を押すと写真設定画面に移ります。既に設定してあり未設定の状態で写真がある場合、設定の解除 / エンターで解除できます。写真が無い場合は → で探して番号を指定します。

印刷で MAIN と set の意味は、MAIN → なにも設定していない意味
 set は、リンク先の設定がされていて 写真データファイルに設定されていないことを意味します。ただし、個別に写真データ登録している場合、薬袋で印刷されますので勘違いしないようお願いします。
 注意：写真データファイルと写真データは全く別のファイルです。単にリンクが有るか無いかの事です。
 印刷プロセスは、リンク名に厚生省コードを使い、写真データファイルにリンク先が無い場合、写真データを探し、それも無い場合、その旨の表示がされます。

特記事項の設定方法

レセプトで特記事項を記載する必要がある場合、２種類の設定方法があります。
基本的に必ず特記事項に記載しなければならない場合は、患者の基本設定で設定します。
患者変更画面で T エンターで設定できます。

処方データ毎に設定が必要な場合、新規に「出産」が9月29日追加となっています。
この場合、出産以外は、特記事項に記載できないと考えられ、処方データごとの設定を追加しました。
設定方法は、薬品登録の所で ― エンターで ↓スクロールし 78 設定です。

加算設定	0円	(0)	(0) 090929 090929
41 特指2回目以	220	51 麻薬在宅訪問	1000
42 麻薬2指導加	80	52 麻薬緊急時共	1000
43 調剤情報提供	150	53 外来服薬支援	0
44 長期2投薬情	280	54 在宅緊急訪問	0
45 後充医薬品情	100	55 麻薬緊急訪問	1000
46 指薬2回日以	220	56 在宅緊急時共	0
47 服薬I情報提	170	57 収書発行	0
48 服薬II情報提	300	58 自費扱い	0
49 未使用	400	59 後充品採用設	0
50 未使用	40	60 重複相互防止	0
		61 退院時共同指	0
		62 後期高齢者麻	220
		63 後期高齢者終	2000
		64	0
		65	0
		66	0
		67	0
		68	0
		69	0
		70	0
		71	0
		72	0
		73	0
		74	0
		75	0
		76	0
		77	0
		78 特記事項	0
		79 内服変更設	0
		80 ◎ *	0

78 エンターをすると

加算設定 ①④ 特記事項=		0円	(0)	(0)	090929	090929
公=01	制越=14	多低=24	この処方限りの特記事項です。 取り消しは(※)です。 常設定特記事項は患者設定 で設定します。			
長=02	経過=15	出産=25				
後保=04	長2=16	=				
老併=07	上位=17	=				
老健=08	一般=18	=				
施=09	低所=19	=				
第ニ=10	三割=20	=				
薬治=11	高半=21	=				
器治=12	多上=22	=				
生准=13	多一=23	=				

特記事項の番号が表示されます。選択してください。
設定が行われると、画面上では 特記の略として「TK」と表示されます。

	眼科医院
0円	(0) TK
11 アスノール錠2mg	21 イクセラセカプセル
12 アズレン点眼液0.02	22 イコリン眼軟膏